

「2025 年大阪・関西万博」堺プロジェクト推進会議（第 3 回） 議事要旨

○日時 令和 7 年 7 月 11 日（金）16:00～16:45

○場所 堺市役所 本館地下 1 階 職員会館大会議室

○主な出席者

堺市：

永藤市長、佐小副市長、市長公室長、政策企画部長、政策企画部部理事、広報戦略部長、文化観光局長、観光部長、文化国際部長、歴史遺産活用部長、産業振興局長、建築都市局長、都心未来創造部長、建設局長、サイクルシティ推進部長、教育次長、教育委員会事務局総務部長、教育委員会事務局学校教育部長
経済団体等：

葛村堺商工会議所会頭、菊地堺観光コンベンション協会会長、堺商工会議所専務理事、堺観光コンベンション協会専務理事兼事務局長、さかい新事業創造センター代表取締役専務、堺市産業振興センター副理事長

○議事概要

会議の開催に先立ち、永藤市長、葛村堺商工会議所会頭から挨拶があり、その後、万博開幕後の取組の進捗や今後の取組、未来につながる万博でのチャレンジ等について説明があり、会議出席者間で意見交換した。

意見交換では、堺旧港周辺エリアの活性化に向けた取組やより効果的な発信方法等について議論された。

【永藤市長挨拶要旨】

大阪・関西万博の開幕から約 3 か月経過した。万博は国際交流や外交、経済連携といった場にもなり得るため、国や自治体にとって極めて重要な場と言える。

堺市でも、経済団体の皆様の協力を得ながら万博会場内外で様々な取組に挑戦している。万博開催期間の挑戦は、堺の都市魅力の向上、地域経済の活性化、文化・芸術・観光・交通などあらゆる場面で、閉幕後の効果的な取組にも結び付く。全ての部門で万博を最大限活用できるよう、市職員自らが考え行動することで将来の堺の成長につながる。

今回の万博のような機会は二度とないかもしれないので、これまでの結果や取組内容を振り返りながら、一丸となって取り組みたい。

【葛村堺商工会議所会頭要旨】

万博の閉幕まで残り 3 か月となった。これまで、万博を契機に堺へ来てもらえるよう「SAKAI TICKET」などの取組を実施してきたが、PR 不足は否めない。

単に取組を実施するだけでなく、自分自身が体験したことで得られた感動や新しい発見を伝えることが、より魅力的な発信につながる。

残り 3 か月で堺の本当の良さを伝えるために、この会議が有意義なものとなるよう何をすべきか考えることが重要。

【万博開幕後の取組の進捗及び今後の取組について】

- ・市長公室長から万博会場での催事による魅力発信について説明
- ・文化観光局長から誘客による市内消費の活性化について説明
- ・建築都市局長から堺旧港海上交通の利用促進について説明
- ・産業振興局長から万博の発信力を活用した地域産業の活性化について説明

【未来につながる万博でのチャレンジについて】

- ・文化観光局長から公式参加国との連携について説明
- ・市長公室長からシグネチャーパビリオンとの連携、万博レガシーの継承について説明

【意見交換での主な発言】

- ・堺商工会議所では、万博会場で実施するオープンファクトリーを市内でも実施し、商店街と連携したフードフェス、万博出展企業が参加する企業交流会に取り組む。
- ・堺観光コンベンション協会では、大阪デスティネーションキャンペーンや万博特設サイトなどのプロモーション展開や、体験型コンテンツの造成・販売などを進めてきた。閉幕後も万博の誘客効果を継続できるよう引き続き堺市と連携して取り組む。
- ・さかい新事業創造センターでは、万博会場でも PR したオープンファクトリーを 7 月下旬に実施する。
- ・堺市産業振興センターでは、堺伝匠館の売り上げに占めるインバウンドの割合が前年度より増加している。また、万博を契機にビジネスマッチングの機会創出につながり、万博による効果を再認識した。
- ・定量的な効果測定だけでなく、シビックプライドの醸成という観点から定性的な評価も把握することが必要。
- ・堺旧港周辺エリアを盛り上げるため、イベントの実施や PR 動画の放映などを実施することが必要。
- ・市内連動企画など、単発の取組で終わらせることがないよう、ストーリー性をもたせた発信が必要。